

根深ねぎ法人規模拡大に係る労働力軽減事例

～パートナー契約栽培による規模拡大～

根深ねぎ栽培の労働時間は県の収益性目標では約 200h/10a となっており，露地野菜の中では労力のかかる品目となっている。栽培管理の一部を外部委託することで面積拡大に進めている法人の事例を紹介する。

◎取り組み内容

○本ほ管理(定植から最終土寄せ)の委託(パートナーとの契約栽培)

法人の悩み

「生産面積を増やしたいけど、ほ場がない、
ほ場が増えたとしても人手が足りない」



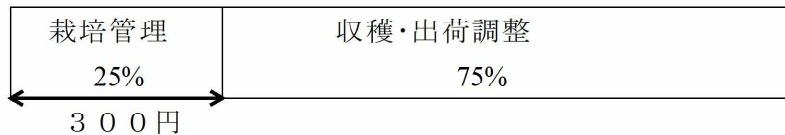
契約栽培制度

作業項目	作業分担
育苗	委託法人
定植～栽培管理(最終土寄せまで)	パートナー様(受託農家)
収穫・出荷	委託法人

※収穫・調整後 1 ケース 300 円(税別)をパートナー様(契約農家)にお支払い
価格設定の考え方

過去の平均単価 1 箱 1,000 円を労働時間に当てはめた金額

労働時間の割合



(法人作成資料から抜粋作成)

○出荷・調整作業の委託

- ・結束作業のみを福祉施設に委託
- ・出荷調整作業を他法人・農家等に委託